

ICC91(ツール・ド・秩父)開催

恒例となった第3回インターナショナルチャレンジサイクリング(ツール・ド・秩父)が10月12日~13日の両日、秩父長尾丘陵の秩父ミュージックパークを主会場として開催されます。

首都圏で最初に開催される市民参加のロードレース大会として1989年に第1回大会が300名の参加者を迎えて開催。初めてのイベントとして注目されたが、2回の大会運営も順調に行われ今回は1350名近くがエントリーし、チャレンジコース・リフトコース・ファミリーコースの3コースに分かれて展開します。中でも丸山林道を通るコースは「ツール・ド・フランス」のアルプス越えまがいの難コースで本大会のメインステージになっています。

12日には受付・車検の後、開会式・交歓会があり、13日はミュージックパークを8時にスタートし、参加者はそれぞれのコースにチャレンジします。

交通マナーにしたがって走行し、くれぐれも事故のないよう、無事のゴールを願っています。

“ 参加者のご健闘を祈ります ”

サイクルOL大会案内

県民総合体育大会の種目となっているサイクルOL大会が下記の通り開催される。

詳細は要項を参照して下さい。

期日 平成3年11月10日(日)

会場 上尾市周辺

集合 県立上尾橋高等学校

日程 受付 9:00 ~ 9:30、開会式 9:30

競技開始 10:00、閉会式 15:00

競技方法 フリポイント マスターマップ 方式

参加資格 読図力があり自己の責任においてサイクリングのできる人

参加料 1,000円(地図、飲物他)クラス ジニアの部、一般の部、シニアの部 女子の部、グループの部

表彰 1~3位、1位はメダル・トロフィー(トロフィーは持回り)

申込方法 所定申込用紙に必要事項を記入して現金書留か郵便振替で協会事務局まで申し込んで下さい。

申込締切 10月17日(木)

注意 工具・昼食・保険証・手袋

整備された自転車(ライト・リフレクター・ベル装備)で参加して下さい。

赤鉛筆又は赤ボールペンを忘れずに。

その他 1)会場には駐車場があります。

2)領収書は当日受付へ提示下さい。 3)問い合わせは協会事務局までお願いします。

SCAラリー終了

第33回埼玉県サイクリングラリー（SCAラリー）が9月29日（日）開催された。週末は台風に見舞われることが多かったが、絶好のサイクリング日和となり渡良瀬遊水池に集合した人たちは湖の大きさに圧倒される。

受付後開会式が行われ、渡邊理事長の挨拶があり、「ほしのかっぷ」のいきさつと星野清氏の訃報が伝えられた。

ゲーム内容等につき原田副理事長（指導委員長）から説明があった後、スタートする。

今回は遊水池内のコースなので安全管理は十分であり、のんびりクイズを解きながらサイクリングできるので役員にとっては楽な大会であった。ただ参加者には少し物足りなかったかもしれない。隠しタイムを気にしながら、ゴールした参加者は芝生に寝ころんで結果を待っていた。

まさかの隠しタイムぴったりの人が2人もでて役員をあわてさせる一幕もあったが、全員無事ゴールして秋の一日を満喫した。

個人の部

- 1位 金子育可 安達将芳
- 2位 川村雄豊
- 3位 飯塚 明

グループの部

- 1位 りゅうの家（依田ファミリー）
- 2位 丸の内レディース（井上姉妹・石川・安達）



SCAクラブラリー終わる

第13回SCAクラブラリーがわかばCCの主管により、8月17日（土）～18日（日）、十日町枯木又「なしのき荘」を主会場として開催された。

13時近く各地から六日町駅前公園に集まったサイクリストは春川峠（5,600m 標高差 300m）のヒルクライムに挑戦する。車はほとんどなく走りやすいコースだが、かなりきつい登りの連続であった。やっとの思い出でゴールした人は冷たいビールで疲れをいやす。

午後6時からは枯木又の分校で地元の人と交流会をもつ。分校の先生や地元の方のほとんどが参加し、地元の踊りや歌が披露され歌え・飲めやの楽しい一時を過ごす。飲み疲れた者はそのまま分校の板の間で就寝してしまった。

翌日はさわやかな空気のもとおいしい朝食をいただき、各自自分の計画に従い出発する。

初めての県外（新潟県＝枯木又）でのクラブラリーだったが、新潟の過疎地での実状や自然の大切さを肌で感じた1日であった。

今回の企画・運営を担当された「わかばCC」の皆さんお世話になりました。

春川峠ヒルクライム結果

- | | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| 川村 雄豊 | 19'35" | 矢作 知久 | 26'22" |
| 栗原 浩一 | 21'47" | 中屋 怜 | 28'20" |
| 川田 弘直 | 23'30" | 加藤 一弘 | 28'30" |
| 菅野 雅文 | 24'10" | 杉山 弘 | 32'14" |
| 渡邊 廣次 | 25'40" | 日比谷達夫 | 35'30" |

新リーダー誕生

さる6月実施されたリーダー検定養成講習会で次の方が新しくリーダーの仲間入りをしました。今後の活躍を期待しています。

1級リーダー 保泉 孝(寄居CC)

2級リーダー 園原規文(浦和CC)

戸田信治(個人会員)

河井 繁(個人会員)



サイクリングコースガイド原稿募集

協会では県内のサイクリングコースガイドを作成しています。第1版につづき第2版をつくる予定で準備を進めています。そこで今回は会員の皆様のホットな情報を掲載したいと思います。ぜひ応募してみてください。

執筆要領

5万円に直接、朱筆でコースを書き込んで送ってください。

実際に走ったコースであること。

必要に応じてコメント、案内図、使えるトイレは必ずその所在を、書き込んで下さい。

狭い地域をコースとする場合、2万5千の地図でも可。

以下の項目番号について書いたレポートを付けてください。

走行距離 舗装率(大体でいい)

そのコースをどの程度のサイクリング

歴の人を対象にしたか、級別に明示して下さい。(初心者/中級/上級/健脚/一般・・・など) そのコースに使う、国土地理院発行の地図名。 順路採録の西暦年月

コース案内として、そのコースの要点・見所をかい摘んで書いて下さい。執筆者として、本人名か、クラブ所属者はクラブ名を載せるか、どちらか選択して下さい。提出するにともなった費用をお知らせ下さい。コースガイド第1集に付いて、お気付きの点があれば書いて下さい。

県内を主とするコースであれば、県外に渡ってもOK。

旧版所収のコースや、在来のイベントコース、雑誌などに紹介されたコースなども、現状の見直しが行われていればOKですが、引き写しはさける。

コース上多少の山道・押し担ぎはOK。

掲載可能な写真がありましたらお送り下さい。できるだけ載せたいと思います。

応募していただいたコースは編集担当者会議で検討の上、できるだけ掲載するようにしますが、重複などで載せられないこともあります。

提出してもらった資料はお返ししませんので、ご了承下さい。

応募者には出来上がったガイドは進呈します。

ガイドをご希望の方は郵送料350円を添えて協会までお申込下さい。

宛先: 〒336 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内埼玉県サイクリング協会 (TEL/FAX:048-824-2711)/コースガイド係 担当: 中屋 TEL:048-757-4347

< インフォメーション >

イベント案内

市民サイクリング 10/10 9:30

駒場運動公園集合(さぎ山記念公園)

浦和市サイクリング 連盟(渡邊:048-833-0156)

ヘルシーサイクリング 10/13 9:00 (県民健康福祉村) \ ヘルシ埼玉 21 県民運動協賛、主催ヘルシーサイクリング 実行委員会(わかば CC、しらこぼと CC)、集合上尾・浦和・越谷、問合わせ藤本 048-887 -8420

青少年のつどい 10/27 9:30

北浦和公園(JR 北浦和駅徒歩 1 分)

わかばサイクリング クラブ 048-887-8420

会員現況

訃報

協会会員亀田文夫(川口 CC)氏が9月1日、肝不全のため40歳で永眠されました。これからの協会スタッフとして期待していただけに誠に残念でしかたありません。謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成3年度埼玉県洋上大学(11/17 ~ 26)の団員に岸田秀紀氏(個人会員)が内定しました。今年は一昨年と同様中国の上海・蘇州です。無事での帰国をお祈りします。

転居

「埼玉～岐阜までのサイクリング記」でおなじみの北村明子さん(グリーンパル CC)が東大宮に新居をかまえました。

〒330 大宮市東大宮 6-68-3

TEL.048-688-2770

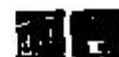
「雑学アラカルト」でおなじみの水野久夫氏(浦和 CC)が札幌に新居を構えました。

〒064 札幌市中央区南 12 条西 14-2-20

シャポー 南 12 条 304 号

TEL.011-511-8697

< 歳時記 >



10月 10日 市民サイクリング(駒場運動公園)
10月 13日 ヘルシーサイクリング(県民健康福祉村)
10月 27日 青少年のつどい(北浦和公園)
11月 17日 平成3年度埼玉県洋上大学(上海・蘇州)
11月 26日 岸田秀紀氏(個人会員)の訃報
12月 1日 北村明子さん(グリーンパル CC)の転居
12月 1日 水野久夫氏(浦和 CC)の転居

《事務局だより》

事務局要員

10/27 川村、11/24 矢作、1/26 日比谷

サイクルOL大会の締切日が間近です。参加する方は至急事務局までご連絡下さい。

編集後記

秋が駆け足でやってきた。この夏から初秋にかけて不順な天候がつづいたが、本当の秋晴れはいつになるのだろうか。サイクルイベントが目白押しの昨今であるが、いつまでサイクルスポーツブームが続くか心配である。今からある程度のフォローをしておく必要があると思われる。(K)